

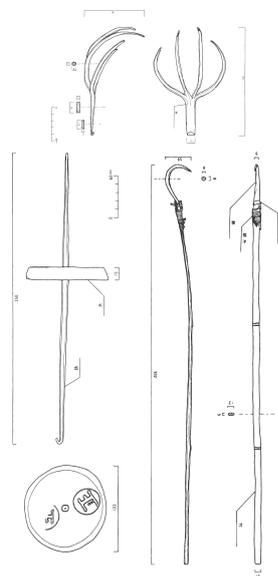
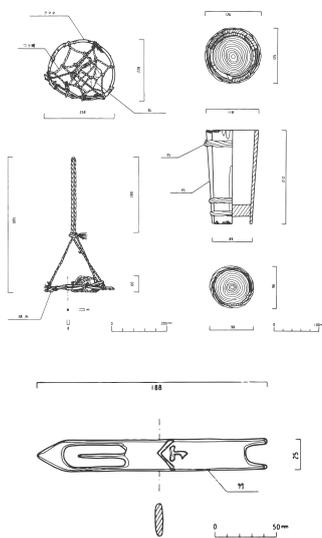
ナゲモノ拾いから始まった

夏季特別展

ハマの民俗と文化財

八戸市博物館

7月9日(土) - 8月28日(日)



昭和47年、八戸市大久喜町内会・同漁業生産部会が中心となり、法師濱の町内会と漁業生産部会、大久喜小学校の協力を得ながら、次第に姿を消していく伝統的な漁撈用具を守るための活動が始まりました。

保存活動が始まった当時、使わなくなった古いハマの道具は単なる「ナゲモノ」に過ぎませんでした。それらを拾い集め、保存と活用に尽力した先人たちがいたからこそ、ハマの民俗文化財が現存し、地域の宝となっています。

本展では、八戸沿岸の地域的特性を示す多様な資料とともに、ハマの民俗を残すために奔走した人々の姿を取り上げます。また、民俗文化財を取り巻くさまざまな現状と課題に目を向けます。

保存活動が始まって50年、さらには文化財指定30年の節目を前に、郷土の先人たちが地域に託した「モノ」の未来について、市民をはじめ多くの人々と共に考える機会とします。

※有形(物)と無形(もの)の存在を併せ持つ複合的な存在(モノ)

「このままでは、一つもなくなってしまう」

併催行事

(1)オープニングイベント(荒天中止)

【日時】7月9日(土)10:30

【場所】博物館中庭(ピロティ)

(2)特別展講演会 **要申込**

【日時】①7月9日(土)②8月13日(土) 13:30

【講師】①大久喜小学校5・6年生の皆さん

②福土廣志(留萌市教育委員会生涯学習課)

(3)特別公開「浜小屋と漁撈用具」(荒天中止)

【日時】①7月18日(月・祝)②8月11日(木・祝)

10:00~15:00

【場所】鮫町字大作平44(大久喜小学校隣)

(4)体験学習会 **要申込**

「しらべて伝える—博物館の展示に挑戦!—」

【日時】①7月10日(日)②8月7日(日)

10:00~12:00

【対象】小学生~大学生

【定員】各回5組

【その他】成果品は館内に展示(会期中/入替え有り)

(5)特別展ギャラリートーク(展示解説)

【日時】①7月23日(土)②7月30日(土)③8月6日(土)

④8月20日(土) 10:00/14:00

【定員】各回10人(当日先着順/入館料別途)

【協力機関】大久喜法師浜漁業民俗保存会、八戸市立大久喜小学校、八戸市立図書館、八戸工業大学、弘前大学、岩手県立博物館、階上町・階上町教育委員会、洋野町教育委員会、三沢市・三沢市教育委員会、留萌市教育委員会

博物館

〒44-8111 根城字東構35-1 9:00~17:00(入館は16:30まで) ☎7/11・19・25、8/8・12・22【入館料】一般300円、高校・大学生150円、小・中学生50円※市内の小・中学生は無料。市内在住の65歳以上、障害者手帳をお持ちの人と同伴者1人は半額

※今後の状況により、会期・展示内容などを急遽変更する場合がございます。ご了承ください。



ホームページ